

# 時悠館だより

第9号  
令和2年8月1日発行

庄原市帝釈峡博物展示施設 時悠館 広島県庄原市東城町帝釈未渡1909  
TEL(08477)6-0161 / FAX(08477)6-0162

## 「時悠館だより」発行にあたり

合併に伴い、平成18年3月6日発行第8号をもって休刊と成っておりました「時悠館だより」を発行するとともに、新しく結成された「時悠館友の会」の活動を紹介します。

時悠館は地域に親しまれる博物館として、帝釈峡遺跡群の出土遺物を中心に展示している施設です。令和3年は、帝釈峡遺跡群が発見されてから60周年を迎える年であり、帝釈地域にとっても記念すべき年でもあります。

また一方では、本年6月30日に会員自らが学術文化の調査研究に努め、時悠館の展示運営などに関する多くの提案やアイデアを提供し、時悠館とともに地域の学術文化の発展を図ることを目的とする「時悠館友の会」が結成されました。

こんな現状の中、時悠館では企画展示の状況や博物館資料の紹介等あらゆる情報を「時悠館だより」を通してお知らせし、多くの方々に来館していただくよう努めたいと考えます。

(館長 佐古 辰巳)

## 「蔵出し展 帝釈峡遺跡群」開催中 (7/4~10/4)

昭和37(1962)年、全国20大学からなる帝釈峡遺跡群調査団が編成され、馬渡岩陰遺跡の学術調査が行われました。調査の目的は、「日本における旧石器時代人類とその文化」の解明でした。団長であった松崎寿和氏は、馬渡岩陰の下層になお2メートル余りの文化層が残り、寄倉岩陰では7メートル、戸宇牛川岩陰でも最下層の未発掘部分があり、これらの層から旧石器時代の暮らしの痕跡が見つかる可能性は高いと記しています。

調査された遺跡はまだ少なく、近い将来、旧石器人骨が実際に見つかる可能性は今も、なお高いのです。半世紀を越えて続く、先史時代への探求の歩みに思いをはせてみて下さい。(学芸員 稲村秀介)



新キャラクター



展示の様子

### 時悠館友の会結成

この程、「時悠館友の会」を結成いたしました。会長に選任されました村上征二郎です。どうぞよろしく願いいたします。約16年前に、私たち住民から地元発展の一助になればとの強い希望と、期待を背負って開設された「時悠館」でしたが、学術面では素晴らしく高レベルの内容を有していると思われませんが、どうもこれまで地元との距離があまりにもかけ離れてしまっているのが現状だと思えます。

これでは、折角の施設がもったいない限りです。考古学と観光との融合性はないのかもしれませんが、まずは時悠館を訪れ、学習をして、「古代ロマンの里＝帝釈時悠館」を今一度原点に立ち返り、みんなで応援し、せいぜい発展していくよう願っています。

友の会加入の制限はありません。

多くみなさまの参加を願っています。

(会長 村上征二郎)



国指定天然記念物 雄橋

### 会員を募集します

時悠館友の会は、会員自らが学術文化の調査研究に務め、時悠館の展示運営などに関する多くの提案やアイデアを提供し、時悠館とともに地域の学術文化の発展を図ることを目的として、令和2年6月30日に発足しました。

つきましては、会の目的に賛同し、入会を希望する方の募集をしています。

#### ・申し込み先

事務局長 川口孝之 庄原市東城町帝釈宇山60 ☎090-9061-9889

又は 時悠館 ☎08477-6-0161

・入会金 1,000円 お手数をおかけしますが、持参の上、納入してください。納入していただいた段階で会員とします。

但し、会員および関係者の時悠館利用の特典はありません。所定の入館料は必要です。

(事務局長 川口孝之)